



Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島 2021

Sense Island Sarushima Dark Museum 2021



2021.11.02

2021年のテーマは「音」

2019年秋、横須賀の無人島「猿島」において「Sense Island - 感覚の島-」を開催しました。携帯を封印し、暗闇の中で自分の感覚を研ぎ澄ませて猿島の自然と作品と対峙するこの芸術祭は、人との対峙ではなく自然と時間と感覚に向かい合う唯一無二の芸術祭として実施することができました。

テクノロジーや時間の概念を取り払い、猿島にある自然の文脈を感じ自分自身と向き合うような作品や体験を通して、元々私たちが持っていたであろう“感覚”をもう一度取り戻したい。これまでの生活が激変した今だからこそその思いを強く持ち、今年は「音」をテーマの根底に、再び猿島で開催いたします。



齋藤精一 JIKU #004 SARUSHIMA Sense Island 2019年の展示風景

開催概要

- タイトル Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島 2021 (英語表記: Sense Island Sarushima Dark Museum 2021)
- 開催日 2022年 1月22日 [土]~ 3月6日 [日] 会期中の金土日および祝日と 2月10日 [木] *22日間
- 開催時間 16:50-21:00 往路 ①16:50 ②17:35 ③18:15 ④19:00 の4便 三笠桟橋より、①~④のいずれかを事前にご予約いただき猿島へ渡航
復路 18:30、19:15、20:00、20:30、21:00の5便 猿島より、指定された便に乗船し三笠桟橋へ帰着
- 会場 猿島一帯 (神奈川県横須賀市猿島1番)
- 料金 WEBサイトより11月25日(木)からチケット販売開始。開催日及び乗船便(往路)を指定して、事前にチケットを購入
一般 大人3,500円 小・中学生 1,500円、“横須賀市民(市民割チケット)” 大人2,500円 小・中学生 1,000円
※小学生未満のお子様は無料。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添人1名までは無料。
(事前に無料チケットの予約が必要)
- URL <https://senseisland.com>
- 主催 Sense Island 実行委員会 (横須賀集客促進・魅力発信実行委員会、株式会社アブストラクトエンジン、株式会社トライアングル)
- 助成   令和3年度文化資源活用推進事業
神奈川県川崎競馬組合が主催する「川崎競馬」の収益配分金を活用した
神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金対象事業
- 特別協賛 株式会社 博展
- 協賛 順次発表予定
- 協力 ArtSticker (株式会社The Chain Museum)、ウシオライティング株式会社
- 参加アーティスト (50音順) 井村 一登、小野澤 峻、寛 康明、忽那 光一郎、後藤 映則、齋藤 精一、中崎 透、幅 允孝、細井 美裕、mamoru、毛利 悠子
- タイアップアーティスト (50音順) 鮫島 弓起雄、HAKUTEN CREATIVE
- 連携イベント 順次発表予定

プロデューサーメッセージ

人は昔から自然と共生していました。そこから文明は生まれ、文化となり発展し続けています。しかし、ときに人は人間の進化の速度が遅いがゆえに、自分たちの環境を強制的に変化させ、その行為によって、ときに自然を滅ぼし、多くの過ちを引き起こしてしまいました。

今の時代は「人間中心」を再定義する時代とも言われています。

Sense Island - 感覚の島 - では、唯一無二の存在である自然島 猿島 だからこそ、知らずのうちに人工的に作ってしまった感覚を取り払い、テクノロジーや時間の概念を取り払い、猿島やそこにある自然の文脈を、そしてその文脈を感じるために自分自身と向き合うような作品や体験を通して、我々が失ってしまった“感覚”をもう一度取り戻す試みを行います。

これまでの生活が一変した今、もう一度自分と自分の感覚を、猿島で対峙させてほしいと考えています。



SENSE ISLAND プロデューサー 齋藤 精一 株式会社アブストラクトエンジン代表取締役

1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科 (MSAAD) で学び、2000年からニューヨークで活動を開始。03年の越後妻有アートトリエンナーレでアーティストに選出されたのを機に帰国。フリーランスとして活動後、06年株式会社ライゾマティクスを設立。16年社内に設立された3部門の中のひとつ、「アーキテクチャー部門」を率いる。2020年ドバイ万博日本館クリエイティブアドバイザー。2025年大阪・関西万博 People's Living Lab クリエイター。

猿島について

明治時代からの砲台跡が史跡に指定され歴史遺産としても貴重な猿島は、一周歩いて40分程度で回れる小さな無人島で、BBQや釣り、散策など季節に合わせた体験を楽しむ人で賑わいます。日蓮上人が難破しそうな時に白猿が島へ導いたという伝説や、ペリー来航の際にはこの島のすぐ横を船で通ったことからペリー島とも呼ばれていたなど、歴史にも深く刻まれた島です。横須賀市全域には歴史遺産も多く、猿島と合わせたよこすかルートミュージアムなどの観光ルートも紹介しています。



YOKOSUKA

よこすかルートミュージアムは、横須賀に点在する開国から近代につながる歴史、文化の見どころや自然豊かなスポットを「サテライト」と呼び、それらを「ルート」でつなぐことで市内全体を大きな「ミュージアム」としてとらえた横須賀の新しい楽しみ方です。無人島の自然と史跡を楽しめる猿島も、よこすかルートミュージアムの「サテライト」の一つです。 <https://routemuseum.jp/>

猿島へのアクセス

京急線「横須賀中央」から下車徒歩約15分、またはタクシー約5分で三笠棧橋へ。フェリー乗船約10分にて猿島へ。
「横須賀中央駅」まで：京急線「品川」から約43分、「横浜」から約25分。※日中の快速特急を利用した場合

参考画像(2019年展示風景)



photo: Naomi Circus



お問い合わせ

全般お問い合わせ

Sense Island 実行委員会事務局(横須賀市文化スポーツ観光部企画課)
TEL 046-822-8427(平日 9:00-17:00) senseisland.yokosuka@gmail.com

広報用画像などプレスお問い合わせ

株式会社いろいろ 担当：市川 press@iroiroiroiro.jp